

確かな英語力を身につける

近年、大学入試の英語では、長文化が進み、情報をすばやく処理する能力が求められています。New Raysシリーズでは以下の方法で学習者が確かな英語力を身につけることを目指します。



リーディングの力を養成する工夫

- 入試に必要な読解力を育成するために、1年生のうちから1課平均700語の英文を読んでいきます。ただし、中学英語からのスムーズな移行を考慮し、前半の3課は語数・難易度を抑えました。また、各課を4つのパートに分け、授業で扱いやすい分量にしました。
- さまざまなテーマ・テキストタイプの英文を読むことで、テキストタイプに合った表現や語彙を学ぶことができます(New Rays Iの新語数は576語。学習指導要領で指定された語数はIで400～600語、II・IIIで700～950語)。▶p.18, 23
- 課末のRecap & Retellや「学習ノート」のサマリー問題で、内容をまとめる力を育成します。



リスニングの力を養成する工夫

- QRコードから本文のノーマルスピード音声(約130WPM)とハイスピード音声(約145WPM)を聞くことができます。共通テストのリスニング問題のWPMは110～140であるため、1年生のうちからハイスピード音声を聞くことで、リスニング力を伸ばします。▶p.32
- 課末のRecap & Retellで各パートのサマリー音声を聞いて、表を完成させる問題を解きます。▶p.18
- 「WORKBOOK」のリスニング問題で、題材に関連した共通テストなどの外部試験形式の問題を解きます。▶p.22
- 「指導用データDVD-ROM」の「③テスト用データ」→「(22) 定期テスト問題例」にも共通テスト形式のリスニング問題を収録しています。▶p.25



ライティング・スピーキングの力を養成する工夫

- 脚注の THINK PAIR SHARE で自分の意見を書いたり、話したりする活動を行います。▶p.13
- 課末のMake It Yours!でプレゼンテーションの原稿やポスターなど、さまざまな形式の文章を書いて発表します。▶p.19
- 「WORKBOOK」のEXPRESS YOURSELFの問題で、まとめた英文を書く練習をします。▶p.22